

<p>テーマ</p>	<p><b>「かくれた色はなあに？」</b>                  コーヒーフィルタを使ってサインペンの色素を分ける</p>
<p>対象</p>	<p>小学校1～3年生</p>
<p>内容 (90分)</p>	<p>1 かくれた色はなあに？（80分）                  ① コーヒーフィルタに様々な色の水性サインペンで点を打つ。水を張ったペトリ皿に静かに漬けると、紙に水がしみ込んで色素が分かれる。                  ② コーヒーフィルタを使って3種類の黒色の水性サインペンの色素を分け、黒色は様々な色を混ぜて作られていることを知る。                  ③ ろ紙に黒色水性サインペンで五角形または六角形に点を打ち、その下に茎、葉の枝を描く（鉛筆またはボールペン）。五角形・六角形の中心にスポイトで水を滴下し、花の模様を作る（持ち帰り）                  2 まとめ・感想（10分）</p>
<p>準備物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーヒーフィルタ（白色） 1人あたり5枚程度</li> <li>・ ろ紙 1人あたり2枚程度 コーヒーフィルタでも可</li> <li>・ 水性サインペン 各班1組（黒色は3種類準備）</li> <li>・ クリアフォルダ （下敷きとして使用）</li> <li>・ ペトリ皿（人数分）</li> <li>・ スポイト（プラ）（人数分）</li> <li>・ ぞうきん（人数分）</li> </ul>
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水性サインペンはペーパークロマトグラフィーで複数の色素が確認できる物のみを使うよう、事前に選んでおく。</li> <li>・ 上記1③のときには1滴ずつ滴下し、水が広がるのが止まってから、次の1滴を滴下する。</li> </ul>
<p>参考</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わくわく子どもかがく実験室」 大阪教育大学化学教室編 裳華房</li> <li>・ 「東大生がおしえてくれたアタマがよくなる科学おもちゃ&amp;手品」 東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST著 宝島社</li> </ul>

